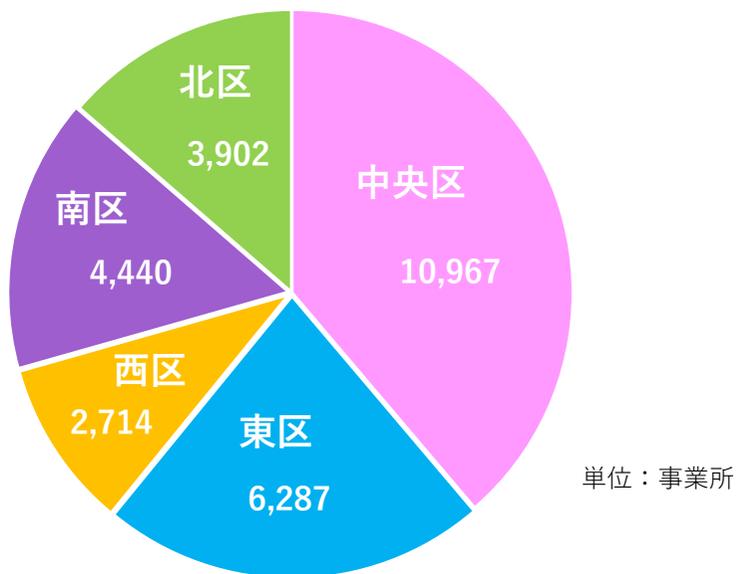
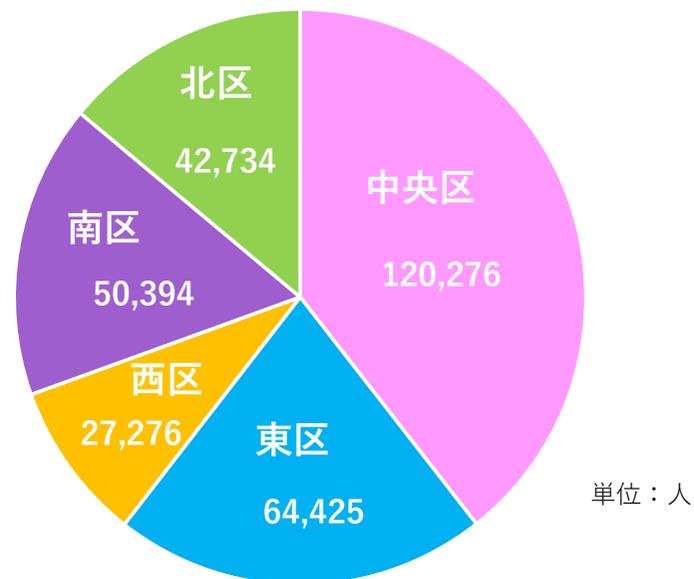


事業所数



従業者数



■ 中央区 ■ 東区 ■ 西区 ■ 南区 ■ 北区



[熊本市ホームページ](#)
(平成28年経済センサス活動調査結果)

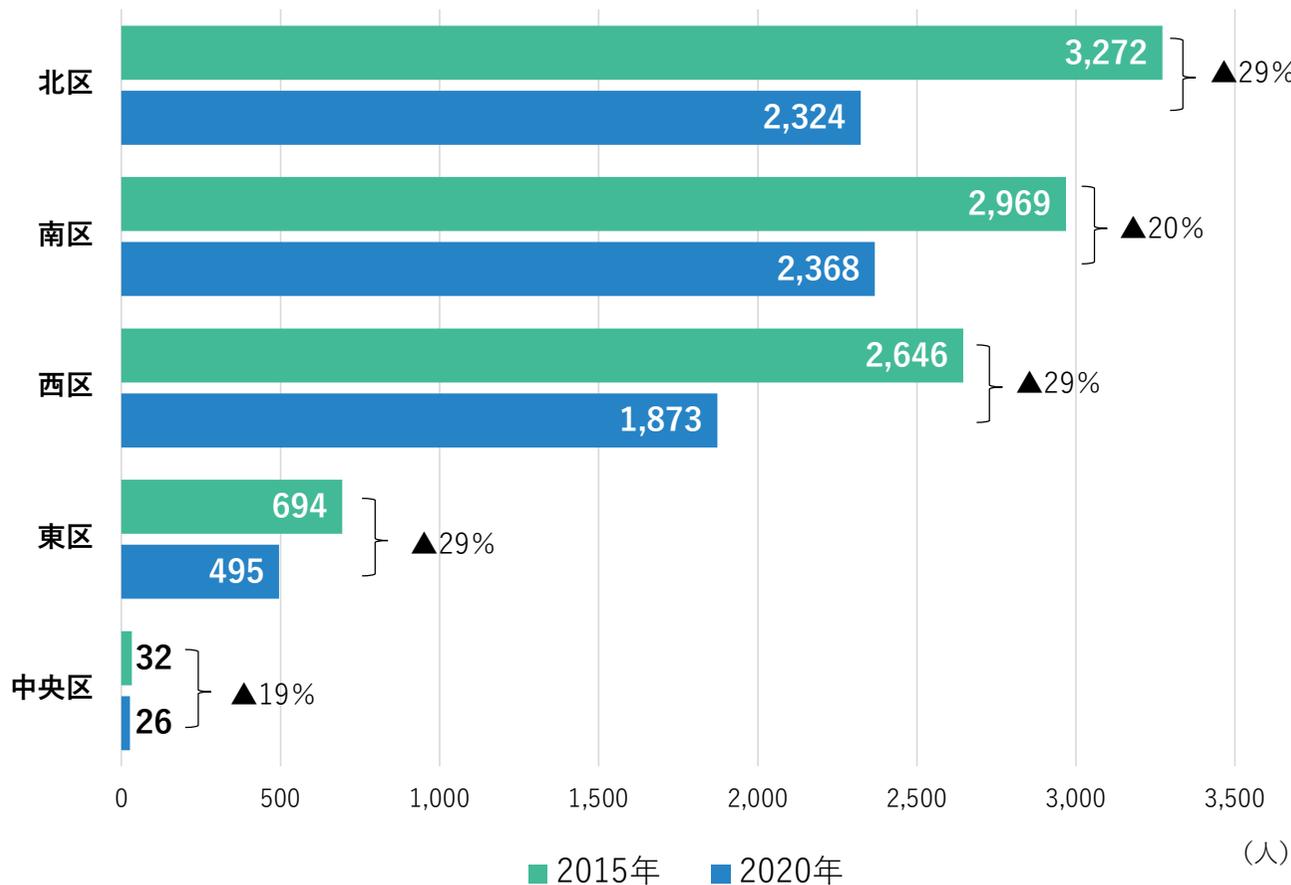
・事業所

- ① 一定の場所を占めて、単一の経営主体のもとで経済活動が行われている。
- ② 従業者と設備を有して、物の生産や販売、サービスの提供が行われている。

・従業者

2016年6月1日現在で、当該事業所に所属して働いているすべての人。

基幹的農業従事者数



【基幹的農業者】

・15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者

・全ての区で農業従事者数は減っている。
 ・その中でも、東区・西区・北区は、5年間で29%減少している。

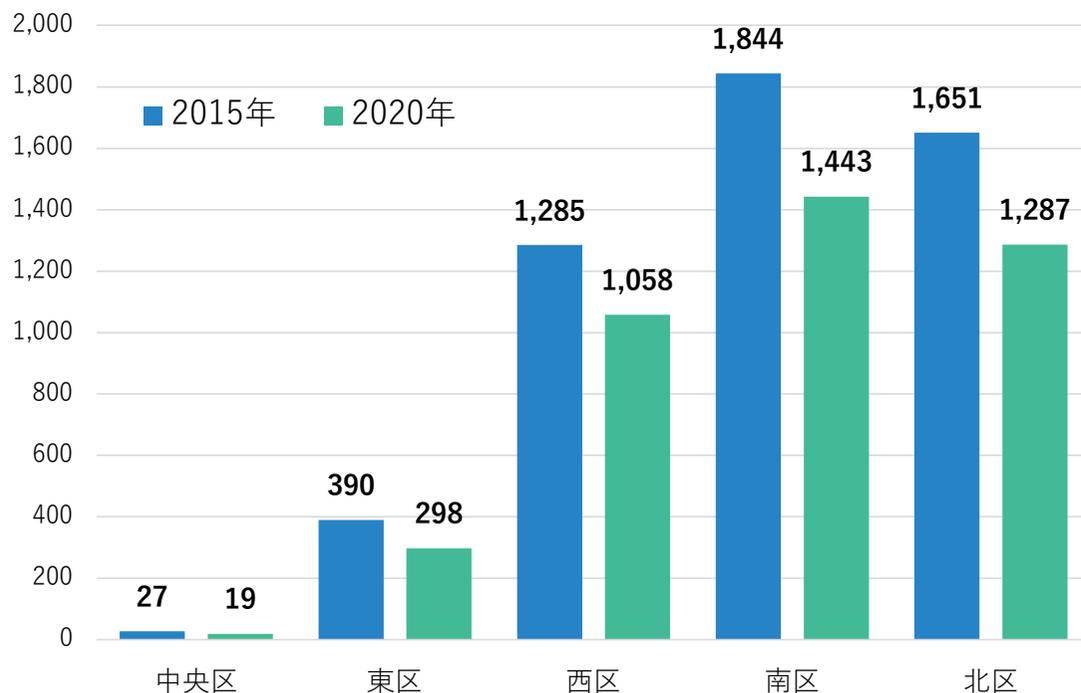


[農林業センサス2015](#)
 (基幹的農業従事者数)

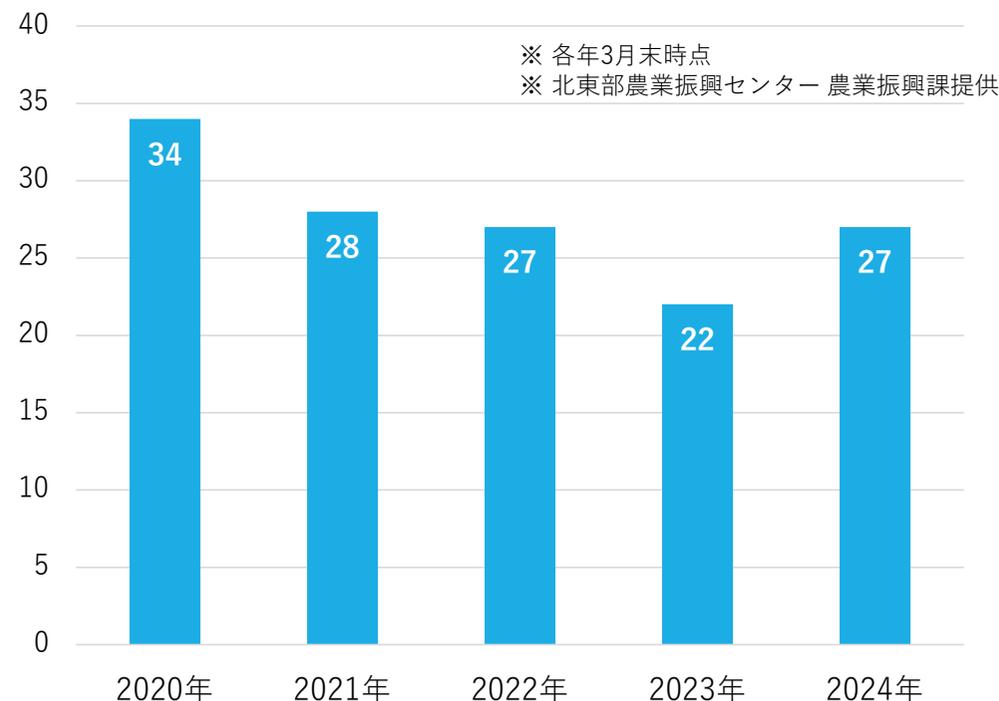


[農林業センサス2020](#)
 (基幹的農業従事者数)

認定農業経営体数



新規就農経営体数【北区管内】



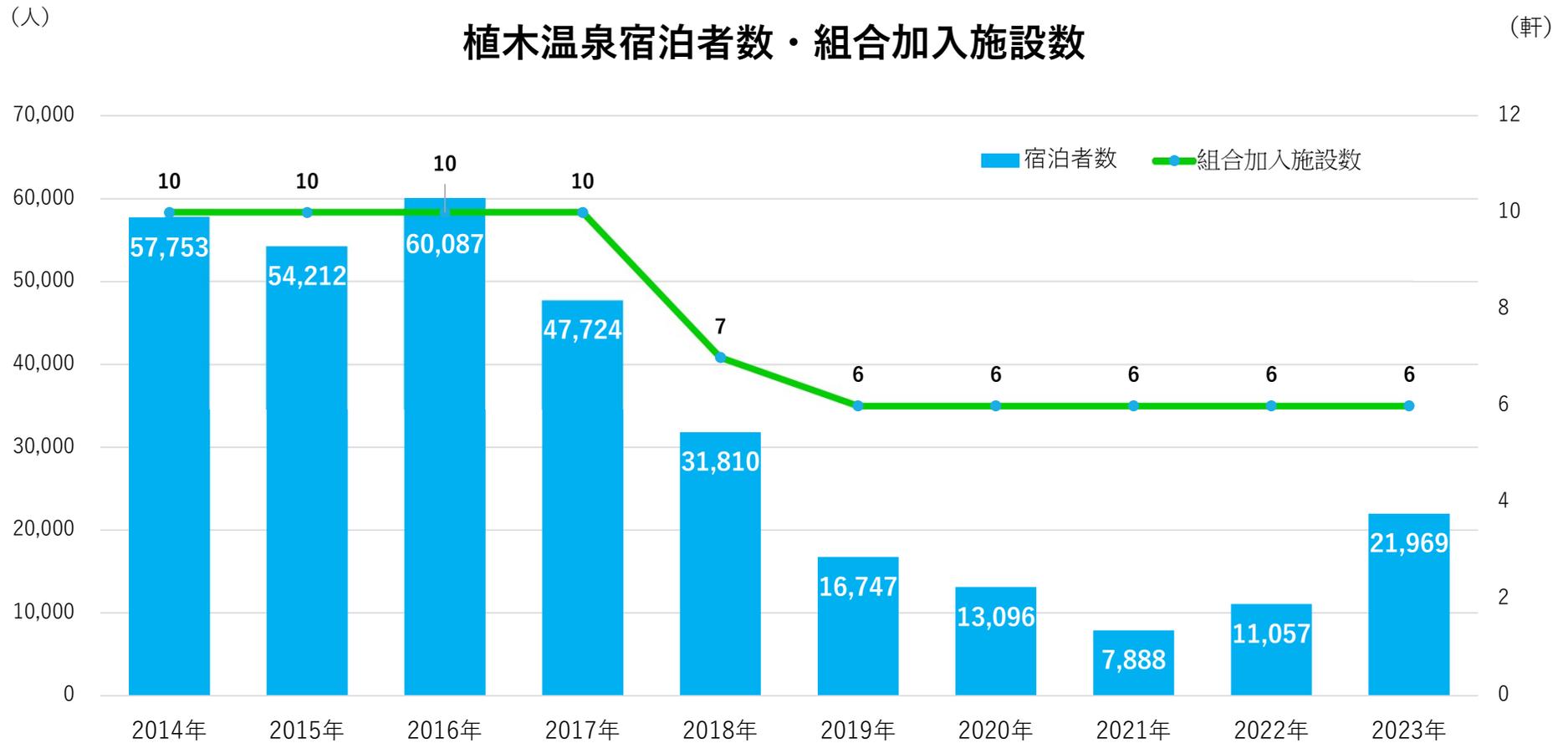
[農林業センサス2015
\(農業経営体数\)](#)

[農林業センサス2020
\(農業経営体数\)](#)

【認定農業者】

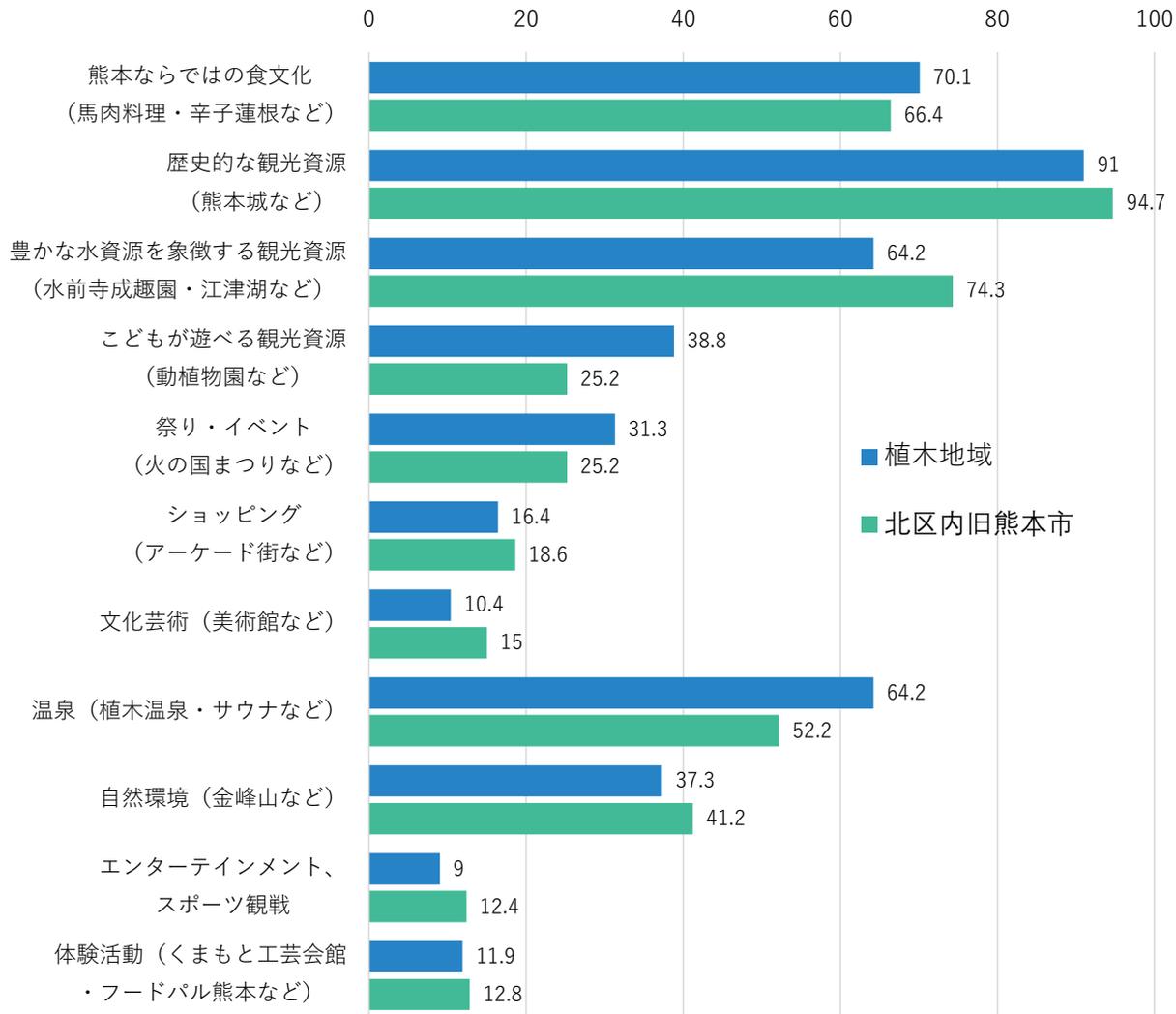
農業経営基盤強化促進法に基づく農業経営改善計画の市町村の認定を受けた農業経営者・農地所有適格法人のこと。

- ・認定農業者は、北区は南区に次いで2番目に多く、5年前に比べどの区も減少している。
- ・北区の新規就農者は、5年前に比べて減少しているが、前年に比べて増加している。



- ・ 植木温泉観光旅館組合加入施設数の減少及び新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、2019年～2022年にかけて利用者が減っているが、2023年は回復傾向にある。

誇りに感じている文化・観光資源について (%)



誇りに感じている文化・観光資源について

※ 令和5年度市民アンケート結果
 ※ 北区の旧市内と植木地域の比較

- ・ 2022年度以前の同様の調査でも、「歴史的な観光資源」の割合が最も高い。
- ・ 次に割合が高いのは「豊かな水資源を象徴する観光資源」であるが、植木地域においては「温泉」の割合が他の地域と比べて高くなっている。



[総合計画に関する
市民アンケート](#)